

学びの

福生市公民館本館だより

令和3年3月2日 No.17

# クワスロード

編集/発行：福生市公民館（本館） 福生市福生 2455 番地 ※市民会館併設  
※公民館公民館係 福生市牛浜 163 番地（さくら会館内） ☎042-552-2118 FAX042-552-2228

## 戦災孤児の叫び「東京大空襲と『焼けあとのおにぎり』」

3月10日は「東京都平和の日」です。この日は、今から76年前、東京が大空襲を受けた日です。東京の下町では、一夜にして10万人以上の尊い命が失われ、いたるところが焼け野原となりました。

本講演会では、疎開中に家族を浅草で空襲により亡くされ、戦災孤児となった講師から、空襲や学童疎開など、当時の戦時下での御自身の体験談を語っていただきます。

また、講演に先立ち、講師の著書『焼けあとのおにぎり』の投影・朗読をします。講演会を通して、戦争の愚かさ、恐ろしさ、命の尊さ、そして平和の尊さを感じ取っていただければと思います。

戦争体験者が少なくなる中、大変貴重な体験談です。ぜひ、お越しください。なお、当日は同館展示コーナーで、「3・10東京大空襲」の写真展を併せて開催していますので、どうぞご覧ください。

【日 時】3月7日(日)午後2時～4時 【場 所】市民会館第4・5集会室

【定 員】先着30人 【講 師】漆原 智良 氏（児童文学作家・教育評論家）

【申込み】受付中！午前9時～午後5時の間に公民館公民館係☎042-552-2118へ（月曜休館）

参加してみよう！  
公民館講座！

## 子どもの権利条約～大人が理解し、子どもと守る子どもの権利～

「子どもの権利条約」を軸に、子どもが生まれながらにして持つ権利について学んでいきます。大人が子どもの権利を守っていくために何かできることはないか、一緒に考えてみませんか。

【日 時】3月14日(日)午後2時～4時 【場 所】さくら会館ホール

【対 象】市内在住・在勤の方 【定 員】先着10人 【持ち物】筆記用具

【講 師】安部 芳絵 氏（工学院大学教育推進機構教職課程科准教授）

【申込み】受付中！午前9時～午後5時の間に公民館公民館係☎042-552-2118へ（月曜休館）

※感染症防止対策として、人数制限や広い会場に変更するなどの対策を講じた上で実施します。マスク着用や手指消毒の徹底等、国や東京都が示す各施設の利用ガイドライン等に沿った感染症対策に御協力ください。今後の感染状況により、中止となる可能性がございます。予め、御了承ください。

# こんな事業を行いました！

## ○ふっさ子ども哲学かふえ

一つの問いをじっくり考えることは、とても楽しく深い学びに繋がることを知るため、「哲学対話」という対話方法で、自分が思ったことを話したり、他の人の意見を聴きました。

集まった小学生たちは、日頃同じことを繰り返して考えることは少なく、また、ゆつくり話をするのが難しいようですが、このかふえでは、いくらでも話を聴いて掘り下げていきます。

結局、何度考えても答えには辿り着かず、ますます解らなくなってしまうしましたが、そのモヤモヤを楽しみました。



12月6日～2月28日（計6回実施）  
写真は、茶室福庵にて実施した回の様子  
講師：幡野 雄一氏（NPO 法人こども哲学  
おとな哲学 アーダコーダ理事）

## ○史記を読む講座

『史記』には、多くの諺や故事成語が出てきます。『史記』は、中国の前漢時代、およそ今から2100年ほど前、司馬遷によって編纂された歴史書です。今回の講座では、「鶏鳴狗盗」「完璧」「管鮑の交わり」を題材にして、それらの故事成語の背景や由来について学びました。

小学校5年生（男女2名）から92歳の方まで、幅広い年齢層の人たちが参加してくれました。



1月23日・30日、2月6日（土）  
（計3回実施）  
講師：小林 岳氏（早稲田大学高等学院教諭）

## 多言語AIチャットボットとAIスピーカーの実証実験を行っています！

### 【提供サービス】

- 住民登録・各種証明に関する質問・回答
- 地域で活動する団体の一部を紹介

### ①LINEによる多言語対応AIチャットボットをご利用ください！

福生市LINE公式アカウントを友だち登録することで、住民登録・証明分野、地域活動・交流分野などの情報を受け取ることができます。QRコードを読み取り、福生市公式LINEアカウントの友だち登録を行いご利用ください。

### ②市役所に設置されているAIスピーカーをご利用ください！

ボタンを押しながら話しかけると、聞きたかった内容に答えます。市役所で体験できます。

※対応言語：日本語、英語、ベトナム語、中国語  
（今後、増やしていく予定です。）

【問合せ】行政管理局 ☎042-551-1580

これには驚きました。皆さん、学びへの造詣がとても深く、講師の説明に熱心に耳を傾け、また質疑応答も盛んに行われました。

これを機に、公民館での学びを通して、利用者の交流がさらに広まっていくことを願っています。

※「鶏鳴狗盗」とは、つまらぬ者、卑しい者の例。「完璧」とは、傷のない玉の意味で完全無欠。「管鮑の交わり」とは、互いを信頼し、親密な仲をいう。

公民館サークル活動の寄稿文を募集しています！

みなさんが、公民館だけでなく、地域で活動されている内容をお寄せください。

他のサークル活動を知ること、みなさんのサークル活動の参考にしていたり、公民館のサークル活動から地域活動につながっていったりするかもしれません。

各館の公民館窓口まで寄稿文をお持ちください。お待ちしております。